

<p style="text-align: center;">機械制御工学特別実験Ⅰ (Advanced Experiments of Mechanical and Control Engineering I)</p>	<p style="text-align: center;">1 年・後期・2 単位・必修 機械制御工学専攻・ 担当 特別実験Ⅰ 担当教員</p>	
	<p style="text-align: center;">〔システム創成工学教育プログラム 学習・教育目標〕</p> <p style="text-align: center;">D-2 (70%), C-1 (10%), D-1 (20%)</p>	<p style="text-align: center;">〔JABEE 基準〕</p> <p style="text-align: center;">(e), (h), (i), (f), (d-2a), (g)</p>
<p>〔講義の目的〕</p> <p>これまでの講義や実験で培われた基礎知識を生かして、課題や問題を解決し、デザインする能力を育成する。ここでいうデザイン能力とは、構想力、問題設定力、種々の学問や技術を総合し応用する能力、創造力、制約条件下で解を見出す能力、コミュニケーション能力、チームワーク力、継続的に計画・実施する能力などのことを言う。また調査研究を通して自主的・継続的に学習する能力を身に付ける。さらに最終成果を発表することにより、日本語による表現能力を育成することを目的とする。</p>		
<p>〔講義の概要〕</p> <p>グループで実験計画から報告書作成・発表までの一連のプロセスを実行させることにより、チームワークによって限られた制約の中で目標を達成する能力を育成する。</p>		
<p>〔履修上の留意点〕</p> <p>デザイン能力の育成に重点を置いているので、自ら主体的に課題に取り組む必要がある。成果物そのものの評価のみならず、取り組みの課程についても評価する。また、グループ力を評価するため、相互に協力して実験を進める必要がある。</p>		
<p>〔到達目標〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. PBL により、基本構想、問題分析、計画立案、課題解決、発表という一連の流れを体験し、課題を解決するために必要なデザイン手法を理解する。 2. 与えられた予算と期限内にグループにより作品を仕上げることを通じて、制限下で計画的に仕事を進める方法について理解する。 3. PBL によって主体的・継続的に学習する習慣を身に付ける。 4. 討議や発表を行うことで、効果的なプレゼンテーションの方法を理解する。 		
<p>〔自己学習〕</p> <p>目標を達成するには、実験内容を十分に調べ、準備を怠ることなく臨むこと。</p>		
<p>〔評価方法〕</p> <p>実験計画、実験態度、報告書（発表）、及び口頭試問を行い、その達成度で評価する。</p> <p>実験計画（20%）、実験態度（30%）、報告書（40%）、発表（10%）。</p>		
<p>〔教科書〕</p> <p>プリント配布（担当教員作成）</p> <p>〔補助教材・参考書〕</p> <p>参考文献に関しては、担当教員より提示される。</p>		
<p>〔関連科目〕</p>		

講義項目・内容

週数	講義項目	講義内容	自己 評価*
第 1 週	ガイダンス	実施方法の概略説明, 安全実験指導, 4 グループに編成	
第 2 週	テーマ説明	テーマを提示し, 実験目的を説明する.	
第 3 週	ディスカッション	実験計画を立案し, 指導教員とディスカッションする.	
第 4 週	〃	〃	
第 5 週	実験	実験開始. 装置を組み立てて, 実験を行う.	
第 6 週	〃	〃	
第 7 週	〃	〃	
第 8 週	〃	〃	
第 9 週	〃	〃	
第 10 週	ディスカッション	実験データの解析法と整理法についてディスカッションする.	
第 11 週	報告会の準備	特別実験 I 報告会の準備	
第 12 週	特別実験 I 報告会	各グループで実験結果について報告を行う. 報告はパワーポイントなどを用いた口頭発表の形式で行う.	
第 13 週	特別実験 I レポートの 書き方に関する指導		
第 14 週	レポート作成		
第 15 週	総合討論	レポート提出. 報告会における質疑について討論する.	

* 4 : 完全に理解した, 3 : ほぼ理解した, 2 : やや理解できた, 1 : ほとんど理解できなかった, 0 : まったく理解できなかった.
 (達成) (達成) (達成) (達成) (達成)